

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	骨髄移植や骨髄バンクに対する理解を深めるための普及啓発事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人骨髄バンク長野ひまわりの会 〒392-0007 長野県諏訪市清水1-2-18 クレストハイツ清水102号
事業区分	(2)保健、医療、福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	682,294円 (うち支援金: 511,000円)

事業内容

1 啓発グッズの配布(ひまわりの種)

若年層のドナー登録者増加に向け、啓発グッズを配付しました。諏訪圏内の小中学校の生徒に「骨髄バンク命のリレーひまわり」と題してひまわりの種を14000部配付。種の梱包作業には、ボランティアの方々や諏訪赤十字病院看護専門学校に協力していただきました。採れた種を回収し、次年度の夏に種を蒔くことで、命の大切さを知ってもらい骨髄バンクドナー登録に繋げる活動を実施しました。

【配布実績】

- ・ひまわりの種 14,000部
- ・啓発用ティッシュ 2,500個

【対象】

- ・諏訪圏内全小中学校の生徒
- ・イベント等への参加者

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 一人でも多くのドナー登録者を増やすための事業を行った結果、長野県はドナー登録者最下位(47位)だったが、周知の結果現在では全国43位まで上昇。ドナー登録者増加の効果がありました。
- ② 支援金を活用して作成したひまわりの種の作成作業により日赤看護学生が骨髄バンクへの興味を持ち骨髄バンクのことを授業に取り入れた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後の取り組みは引き続き諏訪圏内の小中学校の生徒や地域住民へひまわりの種を配付し骨髄バンクを周知する。若年層への周知も広げ、諏訪圏内の高校生、大学生、専門学生に使用度の高い付箋を配付していきたい。

また、長野県内のドナー登録者を増やすため、サバイバーでもある当会笠原理事長の講演会も広く開催し、その際に県内の住民にも啓発グッズを配付しながら引き続き周知に取り組んでいきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【理事長による講演会の様子】

【目標・ねらい】

- ①ドナー登録者増加
- ②若年層への周知
- ③協力者の発掘

※自己評価【 A 】

【理由】

当初はひまわりの種を配付し周知を試みていたが、その作成作業により、最も伝えなかった看護学生への啓発も行うことができ、目標としていた若年層への啓発が進んだため。